



全国学校体育功労賞を受賞して

熊本市立託麻中学校 校長 新垣 力

教職38年目の節目にして定年退職の年に、このような名誉ある賞をいただくことに恐縮いたしますとともに、私をこれまで導いていただいた先生方、支えていただいた方々に心より感謝申し上げます。

中学生の時に会った木本一幸先生に憧れ、「中学校の体育教師」になることが私の夢となりました。念願が叶い、昭和59年4月に夢であった体育教師としてスタートを切ることができました。

初任の地、八代郡の先生方は、右も左も分からぬ生意気な若輩者の私を時に厳しく、時に温かくご指導くださいました。再配の天草町立大江中学校では、意気込みと裏腹に、自分の指導力のなさを思い知らされ、先輩方の偉大さを痛感しました。生まれ故郷の熊本市に戻り、大規模校の城南中学校に勤務した際も、先生方が真正面から生徒に向き合われる姿を身近で学ばせていただきました。

30歳を迎える頃、不器用な私を見かねて声をかけてくださったのが三原 悟先生でした。「熊本市中体連の手伝いをしないか。」というお誘いでした。お引き受けしたものの、全く役にたてませんでした。そんな私を多くの先生方が、粘り強く育ててくださいました。

その後、熊本市教育委員会指導主事、教頭を経験し、熊本地震の発生した平成28年に熊本市中体連・中体研会長を仰せつかりました。地震直後にも関わらず、熊本市・県の総体を実施することができたことは奇跡に近いと思います。各郡市中体連に助けていただいたことは今でも忘れることができません。子どもたちの夢をつなぐため奔走してくださいました市・県理事長、副理事長の先生方に改めてお礼申し上げます。平成29年には、九州学体研の発表大会を力合中学校で開催しました。翌年、力合中学校が全国学校体育優良校を受賞できましたのも、授業者をはじめ関係の先生方のおかげです。また、熊本市会長の4年間は、大雨の対応等、様々な課題に直面し、倒れそうになる私を、副会長の校長先生方、熊本市校長会の先生方が力強く支えてくださいました。

令和2年度から2年間、県中体連・中体研会長を仰せつかりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、戦後初となる県総体中止を決断しなくてはなりませんでした。運動が大好きな中学生の夢を実現するためにお引き受けしたつもりでいましたので、自分の思いと真逆の決断をしなければならなかった時、「自分は何のために会長を担っているのか」と問い続ける日々でした。まさに「断腸の思い、苦渋の決断」とはこのことかと実感しました。

この年の中体研の発表大会は、芦北・水俣中体研の先生方と県中体研が力を合わせ実施することができ、熊本県中学校保健体育科の研究を止めることなく、つなぐことができました。

初任以来38年間、熊本県・熊本市教育委員会、歴代会長、理事長、副理事長の先生方をはじめ、多くの会員の先生方、関係者の皆さま方に支えられてきました。最後の年にこのような栄誉を授かりましたことは、どこか恥ずかしく恐縮の至りです。私を育てていただいた皆様と共に受賞させていただいたと認識しております。

感謝の意は尽くせませんが、これからの熊本県中学校体育研究会、熊本県中学校体育連盟の益々のご発展を祈念し、お礼のごあいさつとさせていただきます。